

会 議 録

1 会議名

令和5年度第3回三和区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）報告事項（公開）

- ・三和区の小学校統合に関する第2回住民説明会について

（2）その他（公開）

- ・三和区地域福祉活動実施計画について

3 開催日時

令和5年6月29日（木）午後6時30分から午後7時まで

4 開催場所

三和コミュニティプラザ 3階 多目的ホール

5 傍聴人の数

3人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：飯田英利、江口晃、小山田幸雄、金井茂康、小林則子、高橋鉄雄、田辺敏行、
富村広文、星野幸雄、松井隆夫、松栄由里、宮澤克己

（14人中12人出席）

- ・三和区地域福祉活動計画実施委員会：山口委員長
- ・上越市社会福祉協議会三和支所：服部支所長
- ・事務局：三和区総合事務所 岩崎所長、中村次長、丸田市民生活・福祉グループ兼教
育・文化グループ長、小山地域振興班長、渡辺主任

8 発言の内容（要旨）

【中村次長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務める。

【高橋会長】

- ・挨拶

【高橋会長】

会議録の確認について、6番の田辺委員に依頼する。

次第順では、「3 報告事項」になるが、本日は、社会福祉協議会三和支所の方が三和区地域福祉活動実施計画の説明にいらしているので、最初に、「4 その他」「(1) 三和区地域福祉活動実施計画について」説明を受けたいと思う。

それでは、「三和区地域福祉活動実施計画について」説明をお願いします。

【三和区地域福祉活動計画実施委員会 山口委員長】

- ・資料「三和区地域福祉活動実施計画」により説明。

3年をかけて、計画書と実施計画を作らせていただいた。今日は、皆さんのお手元にある三和区の地域福祉活動計画の実施計画について、簡潔に説明申し上げます。

昨年の秋に、三和区における福祉の基本構想を説明させていただいたが、この中には、大項目と中項目がある。そして、実施計画では、小項目を決めさせていただいた。

三和区地域福祉活動実施計画ということで、1ページ目の1番上に「意識を育むための行動目標」とあるが、これがいわゆる大項目で、「身近な地域で声をかけあう」というところがいわゆる中項目であり、基本構想で定められたものである。この実施計画は、その中項目ごとに小項目を定めており、6回にわたる委員会を開き、ワークショップを含め、いろんな形の中で意見を出していただいた。

具体的に説明を申し上げますと、「身近な地域で声をかけあう」という中項目に対し、3つの小項目を立ててある。1つ目が「スローガンを決め、保育園、小中学校や町内会、各種団体等が積極的に声かけ運動を進める」、2つ目「自主的にあいさつができるよう、区内の雰囲気づくりを図る」、3つ目が「ポスター、のぼり旗、チラシ、たすき等の手法を駆使し、声かけ運動を広める」、これが小項目。これを20数名の委員の皆さん方で決めさせていただいた。以下、同じである。そして、右の方に赤い字で記載しているが、これは、「誰がするのか」、「どこで、どんな場面でするのか」について、1番上であれば、地域住民とか保育園とか町内会と書いてあるが、こういうところでやりましょうということで、大まかな目安という形で記載させていただいている。このような形で、各項目ごとに主だった小項目が書かれている。

そこで、三和区の皆さん方から、どういう事業で協力をしてもらう、あるいは自主的に参加してもらうかという具体的なアクションプランについて、今後、この小項目ごとに事業を積み上げていきたいと思っている。今現在は、第1回目の推進委員会を立ち上げ、20数団体の各団体の皆さん方から、この小項目で具体的に行われている事業はどんなものがあるのか調査をさせていただき、いろいろなものが出てきている。7月下旬に第2回目の推進委員会を開催するが、その時には、今やっているものの他に今後やりたいものはどういうものがあるのかということも含めて、今度はいよいよ事業そのものを決めていきたいと思っている。そうすることによって、基本構想で掲げている2022年から26年までの期間に、少なくともいくつかの事業を三和区の中で、福祉活動計画として実施していきたいと思っている。

1例を挙げると、1ページ目の「意識を育むための行動目標」の中の「身近な地域で声をかけあう」について、三和区振興会にお願いして、小中学校のあいさつ運動をやってみたらどうかということで、補助金を申請しながら、来年に向けて今準備を進めている。

このような形の中で、今後、いよいよ本当のアクションプランができた段階では、予算との関係もあるが、いろいろな形の中で進めていきたいと思っている。実は地域協議会の会長とも話をさせていただいたのだが、今年の3月に全戸配布された「三和区地域協議会だより」に、「三和区における地域活性化の方向性」ということで、構成要素として①から⑤まで書かれていた。できれば、地域協議会と一体的に、書かれているものも含めながら、ワークショップの中でできるだけ取り入れて、お互いに混乱しないような形で進んでいけたらと思っている。

【高橋会長】

今の説明に対し、質問等ある方は挙手をお願いします。

【小林副会長】

右に記載されている「誰がするのか」という部分で、三和区振興会あるいは住民福祉会がたくさんに出てきている。一体となってするのだろうと思っているが、その点について教えてほしい。

【三和区地域福祉活動計画実施委員会 山口委員長】

まず、先ほど冒頭で申し上げたが、まず目安だということを承知していただきたいと思う。そして、これからこの小項目について、各団体からいろいろな事業が出てくると

思うので、「身近な地域で声をかけあう」という中であれば、右側に書いてある各団体等と一緒にまずやっていったらどうかということになる。これからの話である。

【松井委員】

このパンフレットを見ると、非常に住民が意識するのではないかと思うが、全戸配付なのか、それとも回覧されるのか、その辺はどういう考えなのか。

【三和区地域福祉活動計画実施委員会 山口委員長】

昨年10月に皆さん方に説明した「三和区地域福祉活動計画」は全戸配布させていただいた。その時に、地域協議会、民生児童委員、町内会長、三和区振興会の4団体に説明をさせていただいて、全戸配布させていただいた。これも既に全戸配付で印刷してあるので全戸配布し、今の4団体の皆さんに説明したいと思っている。

【松井委員】

ということは、まだ、各町内に届いていないという意味か。それなら分かった。

【田辺委員】

小林副会長の方からも話があったが、今、私たちも非常に同じようなことを考えながら、グループで活動している。その中で1番困っているのは、それを誰がやるのかということである。これを見ると、非常に団体の名前がたくさん出ているが、もし、ここに出ている方々が、無理だというような話がでてきた場合は、何かその代替というものを考えているのか。

【三和区地域福祉活動計画実施委員会 山口委員長】

全くその通りだと思う。先ほども説明したが、この小項目に対して20数団体の方が、「私はこの仕事をやっている」、「私はこういう事業をやりたい」ということで、これから手挙げ方式の中で、各団体の皆さんから事業の選定が始まる。そうすると、その事業の選定で手を挙げた団体からその事業をやっていただくということになるので、ここに書いてあるから、皆さん方が実施しなければならないということではない。

【田辺委員】

今の回答を聞いていれば、一理はあるのだが、果たして、その手挙げ方式ということで、団体の皆さんが有効利用されて良かったというようなことで前に進めればいいが、今、私が見ている限りでは、どう見ても、既存の団体では無理だというような気がしている。今ある団体の皆さんに、それだけの期待をしてもよろしいのか。

【三和区地域福祉活動計画実施委員会 山口委員長】

まず、上越市社会福祉協議会三和支所は行政ではない。行政は権限も財政も持っているので、こう決めたら、そのようにやることはできるが、社会福祉協議会はそんなお金もないし人材も無い。あくまでもこれは福祉計画ということの中で、住民主体で住民の皆さん方がどうするかということだと思う。そのための足かせと言うか、声かけ運動の中でこれを作った。あくまでも社会福祉協議会というボランティア組織の中の一員だと思ってもらいたい。それと、20数団体の方々が、これからおおよそ1年かけて、この小項目に対して「今やっている事業を取り入れたい」、「これからやりたい事業を取り入れたい」ということになるので、その団体が、「私たちがこれをやりたい」ということで出た段階でそれをやっていただくことになる。そして、1団体ではなかなかできないだろうから、2団体、3団体が協力してやるとか、それはこれからの話し合いである。あくまでもこれは行政ではない。

【高橋会長】

他にないか。なければ、以上で「三和区地域福祉活動実施計画について」を終了する。

それでは、「3 報告事項」に戻る。「(1) 三和区の小学校統合に関する第2回住民説明会について」事務局の説明を求める。

【岩崎所長】

6月14日に開催した第2回住民説明会で、参加者の皆様からいただいた主な意見について、私の方から口頭で報告させていただく。

説明会には28人の方が出席された。会の始めに市教育委員会から、1回目の説明会でいただいた意見とその回答を説明させていただき、その後、8人の方から意見をいただいた。

主な意見は、里公小学校の校舎を使用する優位性は何か。また、新聞報道で初めて小学校の統合を知ったなど、前回と同様の意見もあった。その一方で、新聞報道で初めて統合を知ったとしたら、町内のコミュニケーションにも問題があるのではないかと。また、校外学習で子ども達が交流する様子を見て、子どもは統合しても柔軟に対応できると感じたといった肯定的な意見もいただいた。当日説明会に来られなかった方もいるので、住民説明会の内容については、今後、「三和区だより7月号」で、住民の皆様にお知らせしたいと考えている。また、5月に保護者代表者説明会を開催し、改めて保護者の皆様の意向を確認させていただいたが、多くの皆様から、早急に統合して大勢の中で勉強させてあげたいとか、自分の子どもは卒業してしまうが、早く統合ができるように応援し

たいといったような意見をいただいた。

これまで、町内会長や地域協議会の皆様、一般住民の皆様に説明を行ってきたが、統合の方針に反対の意見はなかったことから、市教育委員会としては、地域の皆様から概ね理解をいただいたと判断した。ついては、来月7月の地域協議会で正式に区内3小学校を廃止し、里公小学校の校舎を使用して、令和7年4月に新設統合ということについて諮問させていただきたいと考えている。なお、学校名は今後設置する統合実行委員会で検討することになる。浦川原区、板倉区と同様に、区内の統合であるので、区名と同じ「(仮称)三和小学校」として提案していきたいと考えている。

今後の予定については、地域協議会から答申を受けた後、校舎の改修関連予算を市議会に提案するほか、統合実行委員会で学校名や校歌を決めたり、新しいPTA組織や通学方法を決めたりすることになる。市では、児童や保護者の皆様の負担を軽減するために、できるだけ速やかに統合に向けて準備に入りたいと考えている。このため、できれば、次回7月の地域協議会で諮問し、当日に答申をさせていただきたいと考えているので、市教育委員会の方針に対するご意見等があったら、本日、委員の皆様から意見を伺いたいと思うので、よろしく願いしたい。

【高橋会長】

ただ今の説明について質問等ありましたら、挙手をお願いします。

【松井委員】

今、所長の説明を聞くと、特別問題視するような意見、要望もなかったようにお聞きしているのだが、加えて何か質問事項の中で、再検討すべきだというような質問等された方はいなかったか。

【岩崎所長】

統合自体に反対する意見は1つもなかったが、やはり統合する校舎について、その校舎でいいのかといった質問を1回目、2回目と同じような形で質問があった。その回答としては学校の体制、やはり里公小学校の方が多い人数で運営しているので、子ども達が増えてもスムーズに教育ができるといったような説明、また、施設設備の改修の実績についても、外壁や設備も含めて大規模な改修を行っているので、経費面を抑制しながら進められるといったような丁寧な説明をして、ご理解いただいきたいというような回答をさせていただいている。

【松井委員】

統合については、皆さん、そして個人的にも反対の気持ちはない。基本的に従来のケースを見ると、浦川原区、板倉区も生徒数が多いところという捉え方、それ自体はどうこうない。現状の校舎の状況からして設備投資の金額の問題もあるだろうし、それから通学については、バス通学という基本的なものも出されるはずである。私が聞いたかったのは、私は人数云々ではなく、地域性と今の学校の風光明媚的なものを捉えて、質問された方がいなかったかを聞いたかった。

【岩崎所長】

校舎の面だけではなくて、校舎周辺の自然環境ということで、やはり美守小学校がグラウンドも広かったり白山があったりして、環境がいいのではないかとといったような意見もあった。その時に、正直、答えさせてもらったのは、個人的にはそういった周りの自然環境からすると、里公よりも美守の方がいいなというように思っている。ただ、周りのそういった自然環境だけではなく、やはり一番大事なのは、その学校で子ども達が教育を受けるに当たって、大勢の人数の子どもがスムーズに教室内や教室間を移動したり給食を食べたり、学校の先生が行事や授業をするに当たって、やはりその施設内の校舎の設備であったり、先生の受け入れ体制が大事であるということで、そういった総体的な考えの中で、多くの子ども達の対応ができるということで、このような方針にしたという説明をさせていただいた。

【高橋会長】

私も出席していたが、今、所長が言われた全くそのとおりのことを述べられていた。

他にないか。なければ、以上で「三和区の小学校統合に関する第2回住民説明会について」を終了する

「4 その他」に入る。事務局、委員から何かあるか。

【小林副会長】

6月13日、さんわ祭りの出店部会の会議があり、所用のため最初の部分しか出席できなかったが、部ごとに7月29日に向けて実行委員として一生懸命やっているということ報告する。宮澤委員は総務部の実行委員である。

それから、昨日の上越タイムスに、今年度からの市の独自予算を活用した「三和ふれあい食堂」の記事が掲載された。見られた方もいるかと思うが、今年度は73名の子どもが参加してくれるということで、なかなか賑やかである。そんな中、小学校統合の話が親同士でされているなど、私たちの1つの事業の中でも、そういう意識を感じたので

報告させてもらった。

【松栄委員】

三和区青少年育成会議から報告させていただく。中学生のまちづくりワークショップに関する情報提供である。今年度、三和中学校中学生は、これまでのオニバス再生などの活動に加えて、地域に出向くボランティア活動に取り組んでいる。既に、桜の陣や里公小学校の運動会で活動している。現在は、さんわ祭りに向けて、子ども屋台のボランティア、ごみ拾いなどの美化係、駐車場係、また、さんわスポーツクラブの手伝い、吹奏楽部の演奏、盆踊りでの呼びかけ、うちわの配布など、大勢の中学生が参加することになっている。皆様も、さんわ祭りに来られた時には、スタッフとして働いている中学生に声かけをお願いしたい。

【松井委員】

所長に確認だが、7月2日の移動市長室の傍聴は可能か。

【岩崎所長】

個人の話もあるので、ルール上傍聴は、なしということになっている。

【小林副会長】

今ほど松栄委員から中学生ボランティアの話があった。それは青少年育成会議からの発信であったが、三和ふれあい食堂でも、個人的に中学生からボランティアに来てもらい、レクリエーションの手伝いをしていただいた。もちろん行事用保険の中で何かあったら対応できるようにしている。

【小山田委員】

既に広報と一緒に各家庭に配布されていると思うが、7月3日午後7時から、三和体育館で「アウトリーチ事業」の和太鼓の演奏がある。私も「三和の自然と地域を育む会」のメンバーとして、この間、当日にどんなお手伝いをするかという打ち合わせを行った。ぜひ、皆さんも周りの方に声をかけて、できるだけ大勢の人に来ていただければありがたい。

【高橋会長】

他になれば、事務局から何かあるか。

【中村次長】

次回7月の地域協議会の開催日程の調整をお願いしたい。

事務局で会長、副会長と協議させていただいた中では、第1候補として7月27日、

木曜日、第2候補としては、その前日の26日、水曜日、いずれも時間は午後6時30分からを予定している。主な議題としては、小学校の適正配置に関する諮問、答申という形で進めていただければと思っている。

【高橋会長】

- ・ 日程調整
 - ・ 7月27日（木）、午後6時30分からに決定
- 以上で、本日の地域協議会を終了する。

【小林副会長】

- ・ 挨拶
- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

三和区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-532-2323（内線215）

E-mail：sanwa-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。